

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

平成27年2月25日

各 位

公益財団法人食の安全・安心財団  
理事長 唐木 英明

第17回 公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

## 地域資源から地方創生を考える ～伝統野菜・特産品による地域活性化の課題～

昨今、人口減少・地域間の経済格差等を背景に、地域活性化が喫緊の課題となっております。地域資源、なかでも伝統野菜あるいは特産品は地域の産地形成に寄与する可能性が大きいと考えられ、これら地方の食材は地域振興の大きな要として期待されているところです。

しかしながら、担い手の不足、耕作放棄地・遊休農地等の増加、農業技術継承の課題など、今後、地方における伝統野菜、地域特産品の栽培・加工が継続して実施されるには大きな壁も存在しております。

本意見交換会は、産地と実需者の連携事例・伝統野菜の復活事例から、地方の国産食材、とりわけ伝統野菜、特産品の現状と今後の継続的發展に向けた課題、今後、どのようなことが必要なのかについて、幅広い関係者と情報を共有するとともに意見を交換するものです。地方食材のブランド化には何が必要なのか、地域に根付いていくには、どのような仕組みが必要なのか等について、ご参加の皆さまも交えてご議論頂きます。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時： 平成27年3月19日（木） 12：30～15：00
2. 会 場： 世界貿易センタービル 3階 「ルームB」  
〒105-6103 東京都港区浜松町2丁目4番1号
3. 参加費： 無料

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

## 4. 内 容

### (1) 講 演

『イオンフードアルチザン活動の地域活性化の取り組み ～事例紹介～』

島岡 嘉人 氏 (イオンリテール株式会社エリア政策推進本部 フードアルチザングループマネージャー)

『秋田県松館しぼり大根の取組みからみられる伝統野菜の課題』

鈴木 基 氏 (秋田県鹿角地域振興局農林部農業振興普及課 就農・起業支援班主査)

『スローフード活動が地域活性化に貢献すること ～雲仙こぶ高菜復活の事例から～』

馬場 節枝 氏 (農事組合法人守山女性部加工組合 代表理事)

『伝統野菜がもたらす地域振興の可能性』

大村 美香 氏 (朝日新聞東京本社 生活グループ編集委員)

### (2) 会場参加者との意見交換

【パネラー】 島岡 嘉人 氏  
鈴木 基 氏  
馬場 節枝 氏  
大村 美香 氏

コーディネーター

唐木 英明 (公益財団法人食の安全・安心財団理事長、東京大学名誉教授)

5. 申込方法：別紙申込用紙をFAX又はメールにて3月17日(火)までにお申込み下さい。

FAX：03(5403)1280

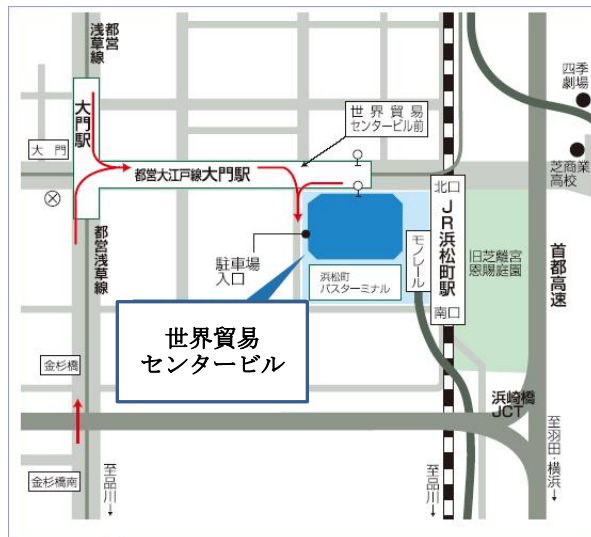
メール：[info-anan2010@anan-zaidan.or.jp](mailto:info-anan2010@anan-zaidan.or.jp)

- ・参加受付は先着順となります。参加者多数により参加いただけない場合は、3月18日(水)までに、ご登録いただきましたメールアドレスまたはFAX番号にご連絡いたします。
- ・ご参加いただける方には特段連絡等はいたしません。当日会場へお越しください。

お問い合わせ先：公益財団法人食の安全・安心財団 (Tel 03-5403-1064) 森川

### 【世界貿易センタービルへのアクセス】

- ・JR(山手線/京浜東北線)浜松町駅北口改札 徒歩1分
- ・東京モノレール浜松町駅と直結
- ・都営地下鉄(浅草線/大江戸線)大門駅と直結(B3出口)



※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

FAX: 03 - 5403 - 1280 (公財) 食の安全・安心財団事務局 宛

第17回 公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

## 地域資源から地方創生を考える

～伝統野菜・特産品による地域活性化の課題～

### 参加申込書

参加者のお名前	社名または所属団体名・役職名

(個人でご参加の方は、ご所属の団体等があれば、その団体名をご記入ください)

#### ☆ご連絡先

恐れ入りますが、こちらから連絡する場合がございますので、下記にご連絡先をご記入ください。

個人でお申込みの場合は、TEL・FAX・メールアドレスのいずれかをお願いいたします。

ご担当者 \_\_\_\_\_

所属・役職名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_